

SmartStart 8.10 リリース ノート



製品番号 502506-191
2008年9月（初版）

© Copyright 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

対象読者

このリリース ノートは、サーバおよびストレージ システムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし、コンピュータ機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

目次

概要	4
SmartStart	5
診断	7
HP Insight Diagnostics.....	7
HP Insight Diagnosticsの概要	7
HP Insight Diagnosticsユーティリティの問題.....	8
HP Insight Diagnosticsユーティリティの制限事項.....	9
HP Insight Diagnosticsの注意	10
オペレーティング システム.....	12
Microsoft® Windows Server® 2008	12
Microsoft® Windows Server® 2003	12
Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Editions	13
Microsoft® Windows® 2000.....	13
NetWare PSP	13
Red Hat Enterprise Linux 4 Update 5	13
HP StorageWorks MSA1000およびMSA1500.....	13
HP Insight Management WBEM Provider for Microsoft® Windows Server® 2003/2008	14
カスタマ アドバイザリ	15

概要

これらのリリースノートでは、SmartStart CDの内容に関する特別な情報と分かっている問題およびそれらの潜在的な回避方法について説明します。

SmartStart

- SmartStart 8.00のリリースより、コンテンツが2枚のSmartStart CDに分割して収録されています。一方のCDは、すべてのx86 32ビット コンポーネント（サポートされるLinuxおよびMicrosoft® Windows®バージョン）用で、もう一方のCDは、すべてのx86 64ビット コンポーネント（サポートされるLinuxおよびMicrosoft® Windows®バージョン）用です。
- サポートされるすべてのオペレーティング システムは、SmartStartプロセス中のOS選択画面に表示されます。すべてのサーバにおいてサポートされるすべてのオペレーティング システムは、RBSUでの選択に関わらずSmartStart自動インストール中のOS選択画面に表示されます。オペレーティング システムが表示されていても選択できない場合は、サーバ、またはサーバのプライマリ コントローラでサポートされていません。FAQにサーバおよびプライマリ コントローラでサポートされないオペレーティング システムが表示されます。
- 特定のSmartStartのバージョンに関連する既知の重要な製品の問題およびその解決方法がHPのWebサイトに記載されています。HPのSmartStartのWebサイト<http://www.hp.com/jp/servers/smartstart>にアクセスし、製品サポートに関する情報を参照してください。
このドキュメントに記載されている解決方法を適用し、問題を解決することをおすすめします。誤った操作を行うと、HP ProLiantサーバの操作と機能が正常に動作しなくなることがあります。新しい問題が発見され、解決された場合、このリストは事前にアップデートされます。
- 外部ストレージとSmartStartを使うと、ドライバのロードに時間がかかります。

説明

このエラーは、Ultra2 SCSIインタフェースでUltra3 SCSIホスト バス アダプタ（64bit/66MHzデュアル チャネルWide Ultra3 SCSIアダプタなど）に接続されているHP StorageWorksエンクロージャ（4300ファミリ）にUltra3 SCSIディスク ドライブがインストールされている場合に発生します。

このエラーが起きるのは、ドライブとHBAがUltra3でネゴシエートしようとしているのに、HP StorageWorksエンクロージャがUltra3トラフィックとの互換性がないためです。

このエラーは、SmartStartを起動して、ドライバのロードのために約5分間休止したときに起きます。通常、SmartStartの起動後にインストールが失敗します。

対処方法

HP StorageWorksエンクロージャ（4300ファミリ）のI/OモジュールをUltra3にアップグレードしてください。

Ultra2 SCSIコントローラのHP StorageWorksエンクロージャ（4300ファミリ）では、Ultra2のディスク ドライブだけを使用してください。

注

Ultra2のディスク ドライブは、Ultra3 SCSIコントローラのHP StorageWorksエンクロージャ（4300ファミリ）では、正しく動作します。

- サポートされていないサーバでのSmartStart 7.xの起動

説明

SmartStart 7.xをサポートされていないサーバで起動した場合の動作は、サーバの機種によって異なります。以下のような現象が発生します。

- 起動後に#プロンプトが表示されます。

- SmartStartの実行中にシステムがフリーズする場合があります。
- SmartStartプログラムから、[メンテナンス]タブを選択するように指示されます。
- 古いモニタを使用している場合、画面に何も表示されません。
- メッセージ「SmartStart 6.00 and later do not support this system. Please reboot with SmartStart 5.50 or earlier.」が表示されます。

対処方法

SmartStart 7.xでサポートされていない古いサーバの場合は、SmartStart 5.50を使用してください。SmartStart 7.xによってサポートされるサーバのリストについては、HPのWebサイト <http://www.hp.com/servers/smartstart/supportmatrices> (英語) を参照してください。

- 翻訳
一部のストリングが未翻訳のため英語で表示されます。
- フランス語キーボードを使用している場合にAdaptecアレイ コンフィギュレーション ユーティリティを起動するには、起動中に**Ctrl+Q**ではなく**Ctrl+A**を押す必要があります。

説明

SmartStartアプリケーションとSmartStartインストール ポスターには、アレイ コントローラを設定するためのROMベース ユーティリティを起動するには、起動中に**F8**または**Ctrl+A**を押すように記載されています。この指示は、英語版キーボードを使用することを前提としています。フランス語版キーボードの**A**キーの位置は、英語版キーボードの**A**キーの位置と同じではないため、フランス語版キーボードで**Ctrl+A**を押してもAdaptecアレイ コンフィギュレーション ユーティリティを起動することはできません。

対処方法

Aキーと**Q**キーの位置が逆になります。**Ctrl+Q**キーを押すと、Adaptecアレイ コンフィギュレーション ユーティリティが起動します。

HP Insight Diagnostics

HP Insight Diagnosticsメンテナンス ユーティリティは、サーバのハードウェアの設定に関する情報を表示し、サーバが正常に動作していることを確認するためにシステムおよびコンポーネントをテストします。

HP Insight Diagnosticsの概要

HP Insight Diagnosticsには、HP Insight Diagnosticsオフライン版とHP Insight Diagnosticsオンライン版の2種類があります。

HP Insight Diagnosticsオフライン版は、オペレーティング システムが稼動していない間に、システムとコンポーネントのさまざまな詳細テストを実行します。Insight Diagnosticsのオフライン版にアクセスするには、SmartStart CDを起動し、[サーバ メンテナンス]ボタンをクリックして、[サーバの診断]ボタンをクリックします。

HP Insight Diagnosticsオフライン版では、カスタム/インタラクティブ テスト スイートからROMベース メモリ テストを利用できるようになりました。このメモリ テストは、Fully Buffered DIMMをサポートしているシステムで利用可能で、メモリ モジュールに関する多くの総合的なテストを提供します。ROMベース メモリ テストは、他のテストとは別に実行する必要があり、テスト中に再起動する必要があります。詳しくは、『HP Insight Diagnostics Users Guide』を参照してください。

HP Insight Diagnosticsオンライン版は、Webベースのアプリケーションであり、効率的なサーバ管理を実現するために必要な、詳細なハードウェアおよびソフトウェア システム コンフィギュレーション情報と他の関連データを取得します。さらに、システムの完全で徹底的な監査のプロセスを形成するために、これらのコンフィギュレーションを比較する機能があります。このバージョンでは、管理者は、サーバを再起動せずに、またサーバがオンラインのときに、Insight Diagnosticsを実行することができます。オンライン版は、WindowsまたはLinux PSPによって自動でインストールされます。また、HPのWebサイト<http://www.hp.com>（英語）の「ソフトウェアおよびドライバ」ページからダウンロードして、PSPとは別に単独でインストールすることもできます。オンライン版は、System Management Homepageから利用可能です。

HP Insight Diagnosticsオンライン版には、診断機能が追加されました。この機能は、デバイス動作履歴の非干渉システム レベルチェックを使用して、デバイスを診断する機能を提供します。Insight Diagnosticsバージョン7.4.0より、Insight Diagnosticsオンライン版は、SmartアレイSCSIハードディスク ドライブを診断する機能を提供します。診断は、Smartアレイ コントローラに接続され論理ボリュームの一部として設定されているSCSI、SATA、およびSASハードディスク ドライブをサポートします。診断は、コンポーネントのテストではありませんが、99.9%の精度でハードディスク ドライブを徹底的に診断する、ハードディスク ドライブ動作履歴と専用のSmartアレイ コントローラ統計を使用するアルゴリズムの組み合わせです。診断は、ハードウェアの状態の診断を手助けし、既存のオフラインのテストよりもはるかに高速です。診断機能を使用すると、ダウンタイムを減少することができ、1クリックでハードディスク ドライブの完全なトラブルシューティング情報を提供することができます。

Smartアレイ ドライブ診断機能は、以下の場合に使用してください。

- ハードディスク ドライブが特定の状態になった理由の調査
- Systems Insight Managerがディスク ドライブに事前障害または障害があると報告した場合

- データの破壊やストレージの問題が存在するが、物理的な表示がない場合
- 競合エラーが存在する場合
- エラーが繰り返し発生する場合

SmartStart CDバージョン8.10以降では、オフライン版のHP Insight Diagnosticsバージョン8.1.1で、HP Insight Diagnosticsに含まれる「Diagnosis」ツールを利用できます。これまで、Smartディスクアレイの「Diagnosis」ツールは、ProLiant Support Packを通じて提供されるオンライン版のHP Insight Diagnosticsでのみ利用可能でした。

SmartStart CDバージョン8.10およびPSP 8.11/LSP 8.11以降では、ディスクアレイの「診断」機能が拡張され、一部のProLiantサーバに搭載されている新世代のインテリジェントパワーサプライをサポートします。このツールにより、ユーザは、パワーサプライ関連の問題を診断してトラブルシューティングし、Recommended Repair Action (RRA) メッセージが画面に表示されたときには、このメッセージを参照して復旧処理を実行することができます。この機能拡張されたバージョンの「診断」ツールのユーザインタフェースは、旧バージョンと同じように見えるかもしれませんが、機能を制御する内部の状態はディスクアレイ診断と異なっている場合があります。診断を実行すると、ハードウェア構成が自動的に検出され、「診断」が適用されるデバイスだけがユーザインタフェースに表示されます。「診断」に含まれるソフトウェアロジックにより、必要なテストを特定のパワーサプライまたはディスクドライブが実行できるかどうかを判別されます。

HP Insight Diagnosticsユーティリティの問題

HP Insight Diagnosticsユーティリティの問題では、HP Insight Diagnosticsユーティリティの既知の問題について説明します。これらの問題は、HP Insight Diagnosticsユーティリティの将来のリリースで修正される予定です。

- Insight Diagnosticsを英語以外の言語で実行すると、特定のメッセージが英語のまま表示されることがあります。

説明

フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、または日本語で実行中、メッセージの一部は英語のまま表示されます。

対処方法

対処方法はあります。将来のバージョンのHP Insight Diagnosticsユーティリティで修正される予定です。

- Surveが特定のSATAドライブの回転数を間違って表示します。

説明

SATAを搭載するシステムでは、サーバは間違った回転数を報告することがあります。

対処方法

対処方法はあります。将来のバージョンのHP Insight Diagnosticsユーティリティで修正される予定です。

- 高性能マウスを有効にしたiLOリモートコンソール経由でオンライン版を起動していると、アプリケーションエラーが表示されることがあります。

説明

高性能マウスを有効にしたiLOリモートコンソールを使用してHP Insight Diagnosticsオンライン版を起動している場合、アプリケーションエラーが表示されることがあります。

対処方法

iLOリモートコンソールを使用してHP Insight Diagnosticsを起動する場合は、高性能マウスを無効にしてください。将来のバージョンのHP Insight Diagnosticsユーティリティで修正される予定です。

- HP Insight Diagnosticsオンライン版またはオフライン版のページに、移動のために使用するいくつかのボタンまたはスクロールバーが表示されないことがあります。

説明

HP Insight Diagnosticsオンライン版を特定のブラウザ設定（多くの場合Linuxオペレーティングシステム）で使用しているとページ上に特定のボタンが表示されないことがあります。ページを移動するためのスクロールバーが表示されないページもあります。

対処方法

PageUpキーおよびPageDownキーを使用してページを移動させてボタンにアクセスしてください。ブラウザメニューを非表示にするとこれらのアイテムを表示することができます。

- 物理ドライブの番号がHP Insight DiagnosticsとHPアレイ コンフィギュレーション ユーティリティとで違って表示されます。

説明

HP Insight Diagnosticsの物理ドライブのSCSI IDは、HPアレイ コンフィギュレーション ユーティリティと比較すると異なります。SCSI ID情報を報告または表示するHPユーティリティおよびディスク ドライブ バックプレーンは、順序の決め方の基準が0と1で統一されていません。そのため、サービスまたはコンフィギュレーションで問題のあるドライブを特定することが困難になっています。

対処方法

障害LEDを黄色に点滅させるInsight Diagnosticの新しいSmartアレイ ドライブ診断ドライブ識別ボタンを使用して、ディスク ドライブを特定してください。SATAおよびSASドライブでは、ドライブ識別コマンドでドライブの前面の青LEDを点灯します。

HP Insight Diagnosticsユーティリティの制限事項

HP Insight Diagnosticsユーティリティの制限事項では、HP Insight Diagnosticsユーティリティの実行環境および現在のバージョンには追加されていない機能が原因で発生する、機能上の制限事項について説明します。

- Survey情報の制限事項。

説明

Surveyは、特定のデバイス情報を正しく検出しないか、またはいくつかのデバイス情報を完全に表示できません。データ キャプチャは、HP Insight Diagnosticsで利用可能なドライブに基づいています。

- Smartアレイ コントローラではないRAIDコントローラ上で、ハードディスク ドライブ情報やテストが利用できない、または制限されます。

説明

Smartアレイ コントローラを搭載していないRAID構成では、物理および論理ドライブ情報と利用できるテストが制限されます。コンフィギュレーションとRAIDコントローラによっては、Insight Diagnosticsは、RAIDコントローラによって管理される物理および論理ドライブを表示できないことがあります。

対処方法

対処方法はありません。

- HPマネジメントエージェントがインストールまたは実行されていない環境では、ファン、温度、またはパワーサプライの情報は利用できません。

説明

ファン、温度センサ、およびパワー サプライなどのヘルス関連のデバイスについては、DiagnosticsはHPマネジメント エージェントに依存します。マネジメント エージェントが稼動していない場合、HP Insight Diagnosticsはこれらのデバイスを認識できないために無視します。

対処方法

最新のHPマネジメント エージェントが稼動していることを確認して、HP Insight DiagnosticsをLinuxパーティションにインストールしてください。

- RILOE IIのSurveyデータが制限されます。

説明

RILOE IIから参照できるSurveyデータは、制限されます。

- システム メモリが512MB以下のサーバでは、キーボード、マウス、またはグラフィックスの診断をサポートしません。

説明

システム メモリが512MB以下のシステムでは使用可能なメモリの容量が限られているため、キーボード、マウス、およびグラフィックス テストは、無効にされています。

- ファイバチャネル テストをサポートしません。

説明

ファイバチャネルPCIカードは認識しますが、現在のバージョンでは、テストおよび接続されたストレージ デバイスを認識することはできません。

- HP Insight Diagnosticsは、特定のデバイスのテストをサポートしません。

説明

ネットワーク インタフェース コントローラおよびCD-ROMドライブはテストできません。

- Smartアレイ コントローラ以外の論理ボリュームの一部として構成された物理ドライブを診断できません。

説明

HP Insight Diagnosticsの診断機能は、HP Smartアレイ コントローラの論理ボリュームの一部として構成された物理ドライブのみサポートします。

HP Insight Diagnosticsの注意

Insight Diagnosticsの注意事項では、このユーティリティを使いやすくする項目について説明します。これらの項目を問題と考える必要はありません。

- RPMIは、すべての診断ファイルをアンインストールしません。

説明

HP Insight Diagnosticsのアンインストールでは、診断時に生成されたファイルは削除しません。

対処方法

HP Insight Diagnosticsの実行時にいくつかのファイルが生成されます。`rm -rf /opt/hp/hpdiags`コマンドを使用して、`/opt/hp/hpdiags`ディレクトリを手動で削除してください。Surveyキャプチャのデフォルトでは、XMLファイルは削除されません。

- デバイスによって間違ったPCIスロット番号が報告されます。

説明

間違ったPCIスロット番号が、SIMBIOSから、次にHP Insight Diagnosticsから返されます。

対処方法

最新のシステムROMにアップデートし、HP Insight Diagnosticsユーティリティを再度実行します。

- 一部のコントローラでは、アレイ コントローラのメモリ サイズが間違っ報告されます。

説明

アレイ コントローラのメモリ容量については、Diagnosticsユーティリティの概要セクションで実際より少なく報告される場合がよくあります。この問題は、64MB以下のメモリを搭載するコントローラで顕著です。この状態は、アレイ コントローラのファームウェアが物理メモリ サイズをHP Insight Diagnosticsに誤って報告することにより発生します。

対処方法

コントローラの実際のメモリ サイズは、電源投入時セルフテスト (POST) の実行中に報告されます。アレイ コントローラのファームウェアをアップグレードすると、この問題が解決される場合があります。

- オペレーティング システムから報告されたUSBルート ハブ情報が異なります。

説明

ルート ハブ情報は、オペレーティング システム情報と異なる内容を表示する場合があります。

対処方法

オペレーティング システムでは正しいUSB情報が表示されます。将来のバージョンのHP Insight Diagnostics ユーティリティで修正される予定です。

オペレーティング システム

Microsoft® Windows Server® 2008

SmartStart 8.0は、Microsoft® Windows Server® 2008をフル サポートする最初のリリースです。

Microsoft® Windows Server® 2003

ProLiant Support Pack (PSP) for Microsoft® Windows Server® 2003は、SmartStart CD上の\compaq\csp\nt\ディレクトリをブラウズし、`setup.exe`をダブルクリックしてインストールすることができます。HP Smart Update Managerが起動し、適切なProLiant Support Packを選択することができます。

- Microsoft® Windows Server® 2003上にHP ProLiant Smart アレイ SAS/SATA コントローラ ドライバ (HPCISSS2.SYS) バージョン6.6.0 (以降) およびHP Insightマネジメント エージェントをインストールして実行しているHP ProLiantサーバに、HP ProLiant Support Pack (PSP) 7.80を適用するとブルー スクリーンになることがあります。この問題について詳しくは、以下のカスタマ アドバイザリを参照してください。
 - カスタマ アドバイザリ、ドキュメントID : c01102958 (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01102958>) (英語)
 - カスタマ アドバイザリ、ドキュメントID : c01102961 (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01102961>) (英語)

HPCISSS2.SYSドライバは、(PSP) 7.90で修正されました。

- Microsoft® Windows Server® 2003上にネットワーク コンフィギュレーション ユーティリティfor Windows Server 2003 (CPQTEAM.SYS) バージョン8.6をインストールして実行しているHP ProLiantサーバに、HP ProLiant Support Pack (PSP) 7.80を適用するとブルー スクリーンになることがあります。CPQTEAM.SYSドライバは、(PSP) 7.90で修正されました。
- Windows Server® 2003ベース メディアを使用してWindows Server® 2003をインストールした後、HP ProLiant アレイ コンフィギュレーション ユーティリティfor Windows (ACU) とHP ProLiantアレイ 診断ユーティリティ for Windows (ADU) がHP Smartアレイ SAS/SATAコントローラのスロット情報を「不明」と表示します。さらに、Insightマネジメント エージェントがシステムに搭載されているHP Smartアレイ SAS/SATAコントローラの情報を提供しません。

説明

Microsoft® Windows Server® 2003ベース メディアに含まれているバージョンのStorport.sysドライバは、HP Smartアレイ SAS/SATAコントローラ ドライバ (Hpcisss2.sys) に間違っただデータを返します。この結果、ACU およびADUにスロット情報が正しく表示されず、ストレージ エージェントがサーバに搭載されているHP Smartアレイ SAS/SATAコントローラの情報を報告しなくなります。

対処方法

- Microsoft社のWebサイト<http://support.microsoft.com/kb/883646>からMicrosoft hot fix 883646を適用してください。
- Windows 2003 SP1にアップグレードします。
- Microsoft® Windows Server® 2003 Select版オペレーティング システムの選択

SmartStart自動インストールではMicrosoft® Windows Server® 2003の場合と違って、Microsoft® Windows Server® 2003 Select版のための選択はありません。SelectおよびRetailライセンスの両方にリストされているWindows 2003製品を選択してください。Microsoft® Windows® 2000 Select版では、セットアップ時にライセンス キー入力が不要で、チャンネル情報と共にセミランダムな製品キーの値が生成される技術が使用されています。Microsoft® Windows Server® 2003 Select版は、各契約後取得される、ボリューム ライセンス キー入力のプロンプトが表示されます。

Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Editions

ProLiant Support Pack for Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Editionsをインストールするには、SmartStart CD上の\compaq\csp\nt\ディレクトリをブラウザし、`setup.exe`をダブルクリックします。HP Smart Update Managerが起動し、適切なProLiant Support Packを選択することができます。

Microsoft® Windows® 2000

SmartStartバージョン7.91は、Windows® 2000 PSPを含む最後のリリースでした。Windows® 2000 PSPIはバージョン7.60以降は更新されていません。Webから継続してダウンロードできます。

NetWare PSP

SmartStartバージョン7.91は、NetWare PSPを含む最後のリリースでした。NetWare PSPIは、Webから継続してダウンロードできます。

Red Hat Enterprise Linux 4 Update 5

RHEL4 U5を実行しているサーバでSystem Management Homepageをロードするとタイムアウトが発生します。

説明

SNMPの応答が遅いために、タイムアウトが発生します。Red Hatは、この問題を認識しており、簡単な対処方法が判明しています。

対処方法

`/etc/syslog.conf`から`"*.info"`を削除し、`syslog`を再起動します (`service syslog restart`)。この処理により、RHEL4 U5でのSNMPが遅い問題とSystem Management Homepageのタイムアウトが修正されます。

System Management Homepageがすでにインストールされている場合は、この対処方法を実行した後に、サービスを再起動する必要があります。

対処方法の情報は、Red Hat社のWebサイトhttps://bugzilla.redhat.com/bugzilla/show_bug.cgi?id=241581から入手できます。

HP StorageWorks MSA1000およびMSA1500

SmartStartで提供される起動可能環境では、MSA1000またはMSA1500をサポートしません。その結果、SmartStart CDから起動されるユーティリティを利用してのMSA1000またはMSA1500上の既存ボリュームへの処理は行えません。この制限には、ADU、ACU、およびROMアップデート ユーティリティの使用が含まれます。

HP Insight Management WBEM Provider for Microsoft® Windows Server® 2003/2008

これらのプロバイダには、以下の機能があります。

- 業界標準テクノロジーをエミュレートして、企業環境の管理情報にアクセスします。
- ProLiantサーバプラットフォームおよびオプション用のWMI (Windows Management Instrumentation) フレームワークを介してシステム管理データを提供します。
- SNMPベース マネジメント エージェントの代替として使用できます。
- HP SIM 5.2によってサポートされています。
- DMFTによって定義されるCIM (Common Information Model) を拡張して、ProLiantシステム専用の豊富な標準ベース管理データを提供します。
- システム管理コントローラおよびドライバによって提供される、豊富な基本レベルのツールを活用します。
- 詳細なハードウェア管理、インベントリ、システム状態、およびイベント通知を提供します。

詳しくは、HPのWebサイト<http://www.hp.com/go/HPwbem> (英語) を参照してください。

カスタマ アドバイザリ

- HP Insight Diagnosticsオンライン版8.00 for Linuxのユーザ インタフェースは、進捗状況バーが100%になる前に応答を停止し、テスト モジュールのロードを中断する場合があります (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01421033>) (英語)。
- 現在Linuxでは、ファームウェア バージョン1.88または1.98が動作するHP SmartアレイP600コントローラに接続されているSAS/SATAハードディスク ドライブ用のファームウェア アップグレード コンポーネントはサポートされていません (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01403290>) (英語)。
- HP NCシリーズのネットワーク アダプタのファームウェア コンポーネント (Windows用) は、Firmware Maintenance CDバージョン8.0に収録されているHP Smart Update Managerバージョン3.1.0を使用してデプロイできません (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01409706>) (英語)。
- HP ProLiantサーバ上でクアッドコアAMDプロセッサをサポートするシステムROMの最小バージョン (<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01421363>) (英語)。